

西大和つうしん

(今井雅代さん 追悼号)

2018年2月号

No.428



今井さんとの最後の例会山行となった夏山訓練山行《2017年6月18日、国見岳にて》

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第428号(2018年2月号)

(今井雅代さん 追悼号)

【目次】

故 今井雅代さんを偲ぶ.....	2
今井雅代さんの思い出(写真集).....	7
2 月度山行計画.....	12
3 月度山行計画.....	12
2・3 月度カレンダー.....	13
山行・行事等参加メモ.....	14
山行報告	
・例会山行 《12/17》 紀伊山地 高野山石道(藤井).....	15
・自主山行 《12/23》 京都南山域 鷲峰山(藤井).....	16
・初日の出山行 《1/1》 王寺周辺の山 明神山(都築).....	17
・例会山行 《1/7》 六甲山系 東お多福山(都築).....	17
・自主山行 《1/14》 大峰山脈 稲村ヶ岳(中).....	18
・教育山行 《1/21》 台高山脈 高見山(橋本).....	19
室内例会だより(12/24).....	20

故 今井雅代さんを偲ぶ

昨年6月、国見岳の例会山行に参加されて以降、体調を崩されて療養中であった今井雅代さんが、12月25日のクリスマスの末日に天国に召されました。生前の今井さんの山行にかける情熱と会への貢献に鑑み、今井さんを偲ぶページを設けました。心よりご冥福をお祈りいたします。 (編集者)



最後のアルプスとなった穂高山行《2017年5月4日、涸沢テント場にて》

今井雅代さんへのメッセージ

●島崎隆（西大和山の会 会長）

今井雅代さんを偲んで!!

12月25日10時頃、野路さんより電話があり、今井さんが亡くなられましたと…。えーうそー、本当に!! あまりに突然の事にびっくり、一瞬、信じられませんでした。体調が良くない事は分っていたので、4月頃、退会されるのではないかとは思っていました。

今井さんとの山行の思い出は沢山ありますね……。2011年12月入会されて、翌年5月、会創立30周年を記念し、どうせ行くなら海外へと韓国濟州島、韓拏山を企画したところ、藤井さんと、今井さん・阪口さん・的場さんの新人3名が参加してくれましたので、行く事ができました。それ以来、恩義を感じています。行きたい山々の要望を聞いて、九州由布岳・九重連山・阿蘇、北海道トムラウシ・大雪山系、東北の秋田駒ヶ岳・岩手山・早池峰山、そして花の佐渡の山旅等いろいろな山々の思い出が蘇ってきます。

2015年夏、的場さんが企画した大キレットが流れて、翌年必ず行く予定が、珍しく今井さんからキャンセルがあり、確かにこの年の夏は7月梅海新道、8月白馬岳からの不帰ノ嶮、甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳が続いたからかなーとは思っていたが、体調はあまり良くなかったのかな……。それでもその年の秋、今井さんが企画してくれた屋久島宮之浦岳・白谷雲水峡が最後の山旅になり思い出はつきません。

昨年6月、夏山歩荷訓練、御在所岳の国見岳が最後になりました。顔色が白く、かなりしんどそうなので、病院で診てもらったらと言って、その後の診断が鉄欠乏性貧血と診断との事でした。

「まあー3ヶ月程様子を見て、秋ごろから活動しようか」と言われていたのに……。夏山はすべて中止されましたが、以前から企画してくれていたおかげで、8月の八ヶ岳縦走に予定通り行くことができました。

会として、県連のハイキングリーダー学校（更にもう1年）・雪山登山学校に参加、3年前役員になってからは、女性部担当、県連との交流行事にも積極的に参加、今後会の中心的存在として期待していただけに、本当に残念です!!

人一倍頑張り屋さんで責任感が強い今井さん、5年半を駆け抜けて行ってしまいました。いろんな意味で印象深い方でしたね……。遂に、永遠のお別れとなってしまいました。

本当にありがとうございました、安らかに眠りください。

●都築周作

突然の訃報で今でも信じられません。山行だけではなく女性委員としても、会の中心となって活動していただいていただけに残念でなりません。あまり山はご一緒できませんでしたが、いろいろお世話になり、本当にありがとうございました。

●藤井益子

今井さん、つい最近まで一緒に山に登り、笑い合っていたのに、こんなに急に逝ってしまわれるなんて言葉もありません。

いつも明るくてタフで頑張り屋さんで、頼りになる方でした。そしていつも細やかな心遣いをしてくださいました。（栗の入ったパイおいしかったです。）

九州からアルプス、東北までいろんな山に一緒に行きましたが、最後は去年の5月の大峰奥駈縦走でした。これで最終回で、完歩できたのは二人だけでしたね。

もっともっと、一緒にいろんな山に行きたかったです、とても寂しいです。

●田中初子

今井さんとの思い出の山行は、今井さんリーダーの錫杖ヶ岳です。登山口から40分位登った所で「ティータイムにしましょう」と、プレミアムコーヒーと手作りのお菓子を頂き、ゆっくり休憩しました。頂上手前では立ち止まって私を先に頂上に立つように言って下さいました。下山後には、近くの石山観音に案内して頂き石仏巡りを楽しんだのが印象に残っている山行です。今井さんは、どなたにも気遣いして下さり思いやりのある方でした。

●村田澄子

いつぞやお宅へお邪魔した際、白いモッコウバラが庭を埋めていた。挿し木をお願いした本人が忘れかけたころ、丹精された作品が届いた。

・・・モッコウバラの挿し木、おとどけが遅くなりました。つぼみ無くてごめんなさい・・・

4月18日のメールだ

心配りの細やかな万事きちんとした女性だった。寂しい。あっけないお別れになってしまった今井さん！ 初夏には我が家にも訪ねてきてね、目いっぱい白い花咲かせて待ってるからね！



●辻康司

いつも元気な今井さんの体調の異変に気付いたのが、昨年4月のダイトレ縦走の時でした。それは金剛山の登りで、いつになく重い足取りで登る今井さんの姿でした。単なる一時的な疲労や体調不良によるものと思っていたのに、それから半年経っても体調が回復せず、心配していました。その後、11月末に来年度の山行リーダーの件で連絡を貰った時に、今井さんの口から「来年はもっと悪くなるかも・・・」と不安そうな意味深な言葉を聞き、気になっていたのです。

それからわずか一ヶ月後に、どここの山よりも遥かに高いところに逝かれてしまいました。もっともっと、たくさんの山に行きたかったらうに、それを思うと残念でなりません。どうかこれからは高いところから、われわれの安全登山を優しく見守っていてください。

ここに今井さんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

●勝尾栄美子

体調を崩され、山行に来られなくなって半年余り、また元気になられ復帰される事とと思っていました矢先の、突然の訃報に驚き言葉を失いました。

今井さんが入会されて間なしに、女性4人で柏原の高尾山に行った事があります。そのちょっとした岩場で、私の前を登って行かれる今井さんの足取りの軽快さに感心したのが最初の印象でした。

何時も真摯な態度で、精力的に色々な山に行かれていましたね。県連の登山学校も熱心に受けられ、岩稜訓練では指導者のNさんのスタッフとして、テキパキ機敏に動かれていたのを思い出します。

山以外でも何でも上手で、お手製の干し柿や渋皮煮を持ってきて下さり、美味しく頂いたのが懐かしいです。色々な事が思い出されますが、まだまだ山への意欲をお持ちだった事を思いますと本当に残念でなりません。

●藤本武司

謙虚な人だった。そして、努力の人だった。本会の教育は勿論、県連の初級登山学校、雪山登山学校を合わせて3年、ほぼ皆勤で通した。講師の中武氏は彼女に厳しかった。彼女が何をしても必ずダメだしがあった。少くらいほめてあげてもいいのに・・・でも彼女はめげなかった。修了後も中武氏のチームで訓練を続け、20kg近いテント泊装備を背負って元気に雪山に登っていた。しかし、最後のアルプスとなった2017年5月の北穂山行、私たちは彼女の登りが極端に遅いことに気づいていたが、その真の原因は想像だにできなかった。もちろん彼女自身にも。ただ、酒沢から下山の途中彼女は私に言った、「雪山はこれでもう満足。」と。

通夜のあと、共に北穂に登ったメンバーで彼女を偲んだ。中武さんが言った、「残念！女性では私の一番弟子だったのに・・・」—聞こえたかな？今井さん！

●杉村好子

2014年2月1日に女性ばかり4人で和佐又山北尾根コースの雪山山行をしました。

今井さんから手作りの干し柿を頂き美味しかった事。

少し道迷いをしましたが、いろんな出来事があったので、あの時は楽しかったね、と言われていましたね。

元気で穏やかなお顔をもう一度見たかったです。

御冥福をお祈りいたします。

●高橋稔

今井さんは、県連主催の講習会や訓練に積極的に参加され、短期間で当会のリーダー的存在になられたという印象を持っています。

それが垣間見えたのが、2015年11月の5人による大普賢岳登山の時です。七曜岳から底無井戸に下る危険箇所もある所でリーダーが先行し、後続の3人が大きく離され、姿も見えない、大きな声で呼んでも反応がない「置いてけぼり」が起きました。やがて追付いた時、今井さんが当日のリーダーに対する確に意見をしてくれたのが記憶に残っています。

ご冥福をお祈りいたします。

●阪口百合子

今井さんへ

貴方が貧血で山を休んだ時、病気が再発したのではないかと心がざわつきました。

夏に電話で話した時貴方は、いっぱい山にも行けたし、もういいねんと言いましたね。

覚悟しているなと思ったけど、それ以上聞けなかった。こんなに早く逝くなんて残念です。

命の限りを山で燃やされましたか。いつか答え聞かせてくださいね。

ご冥福をお祈りします。

●橋本紀子

2015年3月「岩屋峰・大天井ヶ岳」の自主山行(リーダー藤本さん)に今井さんから誘って頂きましたね。大峰? ましてや雪が多く残っている季節、私が行けるはずはないと思っていたのですが、「雪の大峰は素晴らしいから行こう」と言って下さり、不安を胸に抱きながら参加しました。当日は雲一つない晴天、本当に楽しい山行を経験致しました。それがきっかけで「行ける山から行きたい山」にと気持ちにスイッチが入ったと思います。

数々の山行に一緒に行かせて頂きました。常に前向きで一生懸命登山に取り組まれる姿勢を傍で見ていて学ぶことが多くありました。今井さん、大変厚かましいお願いです。この会のメンバーが事故なく山登りが出来るよう見守っててくださいね。

今井さんのことは、決して忘れません。本当に有難うございました。

●亀高茂

今井さん、昨夏私が計画した大キレット山行のサブリーダーを快く引き受けて下さり、ありがとうございました。「その代わりに、毎月岩稜訓練よ!」と、経験の浅い我々を叱咤激励し、荒地山、雪彦山、鎌ヶ岳と岩場の多い山を選んで歩行訓練に同行して下さいましたね。今思えば、体調的にきつい時期だったと思いますが、SLとして常に先導して戴きました。

体調を崩され、他の夏山をすべてキャンセルした後も、大キレットには何とか行きたいと、キャンセルを最後まで先延ばしにされましたね。

残りのメンバーでチャレンジした大キレットの当日、心配されて「どうだった?」メールを下さり、悪天候のためギリギリのタイミングで断念したことをメールすると、間髪入れず「いい判断されたと思います」とお返事を下さいましたね。

いつの日か、今井さんと目指した大キレットにもう一度チャレンジしたいと思います。その時には、天国から山行の安全を見守ってください。今度は晴れの好天をよろしく願います。

●船江照代

誰よりも行動力があり勉強熱心で好奇心旺盛。周りを引っ張るリーダー気質な今井さんでした。今年の夏山は一緒にっ! と春先から「大キレット組」と称して4人で訓練を毎月のように行い固い絆を育んでいました。

パワフルな今井さんが体調不良を訴え、山行を控え始めたのが5月頃。その頃にはまだ一緒に夏山に行けると信じて疑いもしていませんでした。

6月に行った大キレット組の訓練山行が、今井さんとご一緒出来た最後の山行になりました。山よりずっと高い、手の届かない場所へ旅立って行かれました。

ポジティブな姿勢を今井さんから学ばせて頂きました。たくさんの笑顔とアドバイスをありがとうございました。

●野路政子

今井雅代さんへ

今井さん、今はどの辺りを登っていますか・・・

富士山よりも、高い高い所を登っていますか・・・

それとも、もう着きましたか・・・

高い所から見る景色はどんな感じでしょう・・・

思い出すことは・・・

いつも明るくおしゃべりをしている、今井さん

いつも頑張っている、今井さん

ありがとうございました。

●中昌子

今井さんによせて

私が西大和山の会と出会ったのは、ステンドグラスの教室で山の話をよくしてくれたことがきっかけでした。もう長野の山に登る事はないと思っていました。近隣のハイキングでさえ滞りがちでした。本当に楽しそうに山、雪の話をしていた今井さんでした。午前中に金剛山に歩荷に行き午後からステンドグラスの教室でガラスを切っているという、強くて元気な今井さんに圧倒され放しでした。私の奥底に隠れていた山へ思いを引っ張り出してくれた人でした。今井さんの美味しい山ご飯と先を見通した緻密な計画に何度も助けられました。たくさんの楽しい時間をありがとうございました。

●杉森英二

今井さんの思い出

一昨年夏の甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳と、昨年春から夏にかけての夏山訓練自主山行が懐かしく思い出されます。綺麗な花を見つけた時や、稜線に上り青い空と緑の山々が見えた時いつも「・・・花、綺麗!」、「・・・山はやっぱりいいなあ!」と声を弾ませていました。今井さんは少女のように純真な気持ちで山を愛していました。一方、数々の山行を少しも自慢することなく、ひた向きに山行されていました。一緒に山行して、教えて頂きたいことがたくさんありましたので残念でなりません。今後、今井さんの登山に対する姿勢を忘れずに真摯に山行に取り組みたいと思います。

ご冥福をお祈りいたします。

●川田和代

入会してまだ1年にも満たない私ですが、今井さんとは室内例会で2、3回ご一緒させていただきました。美しい横顔と知的なまなざしを思い出しております。

古くからご一緒だった会員の皆さんから「今井さん」というお名前をよく聞くことがあり、皆さんからとても信頼されておられる方だと思っておりました。これからご一緒させていただきたかったところですが、残念です。

ご冥福をお祈りいたします。



《2017年6月11日 鎌ヶ岳にて》

今井雅代さんとの思い出



入会后初参加の御在所岳 《2011.12.11》



初参加翌週の高見山山行 《2011.12.18》



雪の伊吹山山行 《2012.3.18》



会創立30周年記念・韓国韓拳山 《2012.5.18》



稲村ヶ岳への例会山行 《2012.6.24》



稲村ヶ岳への例会山行 《2012.6.24》



交野山での公開山行 《2013.4.14》



向山にて 《2013.4.21》



女性 4 人で登った和佐又山《2014.2.1》



2014 年 北海道山旅《2014.7.15.トムラウシにて》



2014 年 北海道山旅《2014.7.20.大雪山系黒岳》



京都・金毘羅山での岩登り訓練《2014.11.8.》



六甲山系・地獄谷でアイゼン・ピッケル訓練《2014.12.7.》



自主山行・新春の高見山《2015.1.3.》



自主山行・伊吹山《2015.3.7.》



堂満ルンゼにて《2015.2.11.》



硫黄岳山頂にて赤岳・横岳をバックに《2015.2.21.》



大普賢岳・七曜岳山行《2015.11.22.》



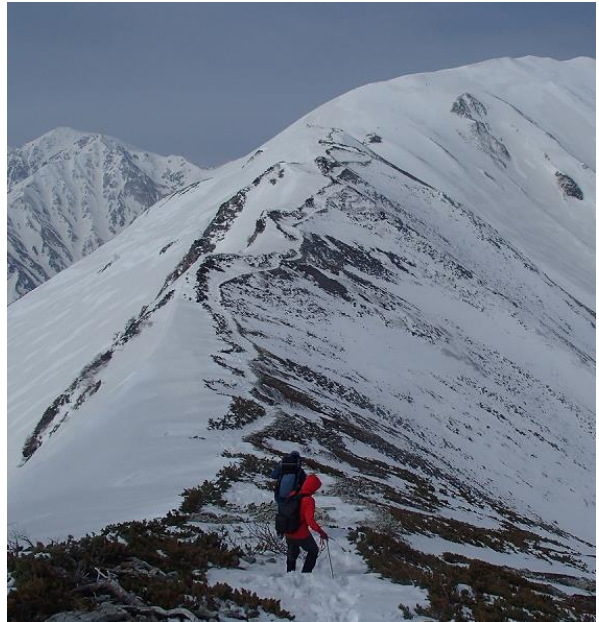
錫杖ヶ岳登山中のティータイム《2016.3.6.》



← 錫杖ヶ岳山頂《2016.3.6.》



Team Y2 の白馬岳山行《2016.5.2》





2016年：花の佐渡山旅《2016.5.8.尻立山にて》



白馬方面への夏山山行《2016.8.10.唐松岳にて》



南アルプスへの夏山山行《2016.8.25.甲斐駒ヶ岳にて》



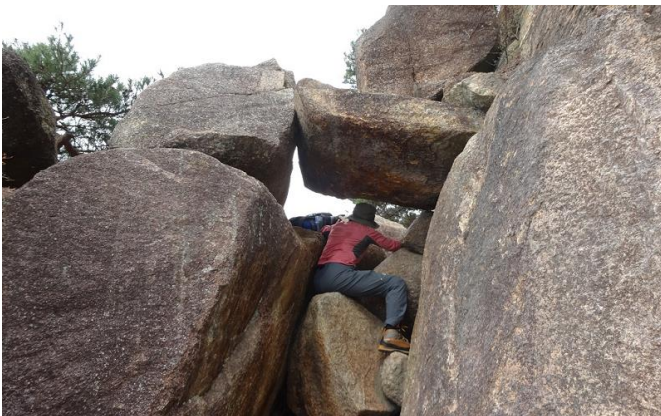
南アルプスへの夏山山行《2016.8.26.仙丈ヶ岳にて》



屋久島山旅《2016.11.11.白谷雲水峡にて》



雪洞での朝食《2017.2.26.雪山登山学校で氷ノ山へ》



岩稜歩行訓練第1弾。七右衛門岩の隙間を通過して荒地山へ《2017.4.15.》





岩稜訓練第2弾《2017.5.13.雪彦山にて》



六甲縦走西コース《2017.5.21.馬ノ背にて》



念願の大峰奥駈の全行程踏破《2017.5.28.本宮にて》



大キレット組での岩稜訓練第3弾《2017.6.11.鎌ヶ岳にて》



岩稜歩行訓練では常にメンバーを引っ張って戴きました《2017.6.11.鎌ヶ岳》



今井さんとの最後の例会山行《2017.6.18.国見岳》

今井さんとの思い出は
尽きません・・・
ご冥福をお祈り致します

2 月 度 山 行 計 画

～雪を踏みしめて湖北の名峰に登ろう！～

例会山行1 比良山系 《蛇谷ヶ峰》

【日 程】2月4日(日) (L 藤井)

【集 合】JR 王寺 7:00 発大阪行に乗車

JR: 王寺(7:00)⇒大阪(7:39/7:45)⇒近江高島(8:54)

バス: 高島(9:04)⇒畑(9:26)

【コース】畑～(1h30)～ボボフダ峠～(1h10)～蛇谷ヶ峰～(1h40)～朽木いきものセンター～(35)～朽木役場前⇒(バス)⇒JR 安曇川駅

※歩行時間: 約 5 時間

教育部主催「教育講座」第6回(最終回)

(座学参加者は1月31日の室内例会で募集)

【日 程】座 学: 2月9日(金) 《講師: 藤本》 19:30～ 事務所

実技山行: 2月17日(土) or/and 18日(日) 《担当: 藤本(Lは別途選任)》

【テーマ】今年度総括+雪山登山*

*1月21日の実技(テーマ「雪山登山」)が天候の都合により雪がなかったため。

※今年度学んだことの総復習とそれを踏まえての山行(計画・実施・反省)

※原則として実技山行のみの参加はできません。ただし、やむを得ない事情で座学に参加できない場合は相談に応じます。座学のみ参加は歓迎します。

～滋賀県・福井県の県境に位置する好展望の山～

例会山行2 湖北の山 《赤坂山》

【日 程】2月25日(日) (L 辻)

【集 合】JR 王寺 7:00 発大阪行に乗車

(往路)王寺(7:00)⇒大阪(7:39/7:45)⇒マキノ(9:26/9:46)⇒マキノ高原さらさ(9:59)

(復路)マキノ高原さらさ(15:20)⇒マキノ(15:36/15:50)⇒大阪(17:27/17:43)⇒王寺(18:19)

【コース】マキノ高原さらさ～(10)～赤坂山登山口～(50)～東屋～(50)～栗柄峠～(15)～赤坂山～(50)～東屋～(40)～登山口～(10)～マキノ高原さらさ

※歩行時間: 約 3 時間 45 分

3 月 度 山 行 計 画

～今井さんを偲んでの追悼山行です～

例会山行1(追悼山行) 大峰の山 《観音峰》

【日 程】3月11日(日) (L 島崎)

【集 合】上牧役場前駐車場 7:00 発

【コース】観音峰駐車場～(1h30)～八代権現神社～(30)～観音峰(昼食 30)～(40)～三塚～(1h)～八代権現神社～(1h10)～観音峰駐車場

※歩行時間: 約 5 時間

西大和山の会 カレンダー

2月		3月			
1	木	県連・初級登山学校・座学	1	木	
2	金		2	金	
3	土	県連・初級登山学校・実技(～4日)	3	土	
4	日	例会山行1《蛇谷ヶ峰》(藤井)	4	日	県連・総会
5	月		5	月	
6	火		6	火	
7	水	県連・理事会	7	水	
8	木		8	木	
9	金	教育講座 第6回座学(藤本)	9	金	
10	土		10	土	
11	日		11	日	例会山行1《観音峰》(島崎)
12	月		12	月	
13	火		13	火	
14	水		14	水	
15	木		15	木	
16	金		16	金	
17	土	教育山行《総括》(藤本)	17	土	西大和つうしん原稿締切
18	日		18	日	例会山行2《比叡山》(勝尾)
19	月		19	月	
20	火	県連・理事会(臨時)	20	火	
21	水	西大和つうしん原稿締切	21	水	
22	木		22	木	
23	金		23	金	
24	土		24	土	
25	日	例会山行2《赤坂山》(辻)	25	日	総会/室内例会/懇親会
26	月		26	月	
27	火		27	火	
28	水	2月度室内例会	28	水	
			29	木	
			30	金	
			31	土	

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	1/31	例会 1	教育講座		例会 2	例会 1	
		室内 例会	2/4 蛇谷ヶ峰	2/9 座学	2/17-18 実技	2/25 赤坂山	3/11 観音峰	
1	(窪田)							
2	都築							
3	藤井		LO					
4	(石田)							
5	田中悦							
6	島崎						LO	
7	田中初							
8	村田							
9	林							
10	辻					LO		
11	勝尾							
12	藤本			講師				
13	杉村							
14	高橋							
15	玉越							
16	阪口							
17	橋本							
18	今井							
19	亀高							
20	船江							
21	野路							
22	中							
23	杉森							
24	上田							
25	永井							
26	川田							
27	高岡							
	合計							
	緊急 連絡先	/		/				

L:リーダー、O:参加、◎:車

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

山行報告

例会山行2

紀伊山地 高野山町石道

【日 程】12月17日(日)曇り

【参加者】L辻・SL田中・藤井・林・橋本・上田(6名)

【コース】九度山駅(7:43)～慈尊院(8:07/12)～展望台(8:50/54)～六本杉(10:00)～古峠(10:23)～神田地蔵堂(10:50/11:00)～笠峠(11:46/12:09)～矢立茶屋(12:56/13:00)～鏡石(14:14)～大門(15:00)～根本大塔(15:10)

高野山町石道とは九度山の慈尊院から高野山の壇上伽藍の大塔まで続く道で、弘法大師が高野山を開山して以来の信仰の道とされてきた。道標として108基の石塔が立つ22kmの道のりである。

九度山駅から真田幸村ゆかりの真田庵を通り女人高野で名高い慈尊院まで歩く。慈尊院の総門から延びる石段の途中に町石道のスタートの180町石がある。慈尊院を後にし、すっかり葉を落とした、柿畑の中を登っていく。展望台まで登ると薄曇りながら眼下に紀ノ川、遠く大峰の山々、大阪湾まで見渡せた。この寒空の中20人くらいの老若男女のグループも登っておられ、毎年12月17日に町石道を歩いておられるという。私たちは山の会として負けてはいられないと先を急ぐ。

道はよく整備されていて町石を数えながら、落葉を踏みひたすら歩く。昨日の暖かさとは一変して風の吹きつける寒い日。Tさんの温度計ではマイナス8度(?)になっていた。石の鳥居が二つ並んで立っている二つ鳥居を過ぎるとゴルフ場の縁を歩く。プレーをしている人が何人もいる。変人はどっち? 矢立茶屋までは快適な道が続く。

矢立茶屋で60町石、あと三分の一になった。ここから本格的な登りになり、杉や檜の大木や袈裟掛石、押上石など巨石も出てきて、高野山に近づいてきたことを実感する。沢を幾度も渡り返し、最後に急な木段を登りきると、道路に出て朱塗りの大門が目の前に。雪がうっすら積もっていて、



大門の赤とのコントラストが美しい。ここは7町石、もう登りは終了。

あとは雪に滑らないように慎重に自動車道を歩く。車も人も少なく小雪のちらつく師走の高野山は厳かな雰囲気だった。1町石は壇上伽藍の手前の柵の中にあり、近づくことはできなかったがついにゴール!! 予定通り3時過ぎに到着できた。10月の台風21号の影響で南海電車は一部不通になっていたが代行バスにスムーズに乗れて、思ったより早く帰宅することができた。

今年最後の例会山行、達成感をたっぷり味わえた山行になった。

(記：藤井益子)



自主山行

京都南山域 鷲峰山 686.7m

【日 程】12月23日(土) 晴れ

【参加者】L 杉村・SL 野路・藤井・中(計4名)

【コースタイム】駐車場(8:35)～金胎寺(8:45)～行場巡り～千手の滝(9:38)～平等岩(11:17)～金胎寺(11:40/12:20)～鷲峰山(12:30/50)～金胎寺(13:00)～駐車場(13:10)

京都和束町ののどかな茶畑を縫って、車はどんどん登っていく。茶畑が杉林に代わり登り詰めるとひっそりたたずむ、金胎寺があった。寺務所の裏から少し植栽林を下ると迎え行者様が鎮座しておられ、いよいよ行場のスタートになる。

急な下りが続き、東の覗き、西の覗の断崖を越え、胎内くぐりをなんとか通過し一気に沢まで下りる。沢では幾筋もの細い流れがしたり落ちる千手の滝、少し下った五光の滝では虹が見られた。沢



を渡り返し、今度は急坂を登る。鐘掛岩は垂直の岩壁に太い鎖が取り付けられている。ここを登るのかと、立ちすくんでしまう。足がかりはあるが段差が大きいので、鎖につかまって登る。次の岩壁にはよく見ると左右とペンキで足場が書いてあった。陽射しも暖かく風もないのでゆっくり慎重に登ることにする。

平等岩はとても登れそうもないので廻り道を行くが、こちらにも狭い岩の間をよじ登る。次々現れる岩場をクリアしてホッとすると、行きに出会った迎え行者様が出迎えてくださる。金胎寺に戻り、食事をしたあと、少し登ると金胎寺の本堂や多宝塔がある。さらに登ると鷲峰山の山頂になり宝きょう印塔が立っていた。琵琶湖が見えるかと期待したが木立に囲まれて展望はなかった。鷲峰山はバスで行くと東海自然歩道や林道を1時間歩かないといけないが今回は車で行ったので手軽に岩登りを楽しみ山頂に立つことができた。

今年最後の充実した山行になった。

(記：藤井益子)

初日の出山行

王寺周辺の山 明神山

【日 程】2018年1月1日(月) 晴れ

【参加者】L 都築・SL 島崎・杉森・永井(4名)

【J-タイム】明神の鳥居前(6:40)～明神山頂上(7:05/ご来光 7:20/7:35)～明神の鳥居前(7:55)

今年は、例年に比べて暖かく、自宅を出る時に車のフロントガラスが凍っていませんでした。また、今年も明神の鳥居前に来てみると駐車している車がいっぱい遠いところに車を置きに行ったため集合時間ぎりぎりになってしまいました。

鳥居前には、杉森さん、永井さんがすでに来られていて、島崎さんが来られたので、昨年と同じメンバーの4人で頂上に向かいました。

頂上に着くと多くの人々が来られていました。案内板等も新しくできていて、ここ数年は400名の人以上の人々が来られているように思います。

頂上に到着して、しばらくは厚い雲に覆われていて今年のご来光を拝むことは難しいと思いましたが、粘り強く待っていると、雲の間からご来光を拝むことが出来ました。しばらくご来光を眺めた後、頂上の祠に4人で今年の西大和山の会が安全に登山が出来ますようお願い致しました。

今年も、参加人数は少なかったのですが、西大和山の会のすべての山行について安全に登山が出来るようにしっかり御来光を拝んでお願いすることができました。当会も会員の高齢化傾向になってきております。そのことから来年以降も安全登山を祈願していきたいと思っています。

(記：都築周作)



例会山行1

六甲山系 東お多福山

【日 程】2018年1月7日(日) 晴れ

【参加者】L 島崎・SL 藤井・都築・村田・勝尾・杉村・高橋・橋本・船江・野路・中・杉森・永井(計13名)

【J-タイム】阪急芦屋川駅(9:59)⇒(バス)⇒東お多福山登山口(10:15)～土樋割峠(11:00)～雨ヶ峠(11:40)～東お多福山(12:10/13:25 昼食)～東お多福山登山口(14:20/14:36)⇒(バス)⇒阪急芦屋川駅(14:50)

久々の山行だったので少し不安もありましたが、東お多福山は、歩行時間が短くハイキングコースとして人気があり道標もしっかりしているのと、電車での集合でしたので車酔いの心配もなく安心して登れる山なので楽しみにしていました。



東お多福山登山口のバス停から、なだらかな林道を登っていくと分岐があり、土樋割峠と書いてありましたが、これは「どびわり」と読むのだろうかといろんなで言い合いながら、雨ヶ峠と続くなだらかな道を快適に歩いていきました。東お多福山山頂近くになると多少急登があり雪が少し残っていて滑りやすかったのですが、山頂に到着すると草原が広がっていて市街地や海が見下ろせていて感動的でした。山頂は思っていたより暖かく風もなかったので、ゆっくりすることができました。お手製のお節をいただいたりお酒をいただいたりして、まさに正月気分の山行でした。下山は急坂もありましたが1時間ほどゆっくり下って登山口まで下りました。

今回の山行は、天候に恵まれたのんびりした新春の山行を楽しむことができました。

(記：都築周作)

自主山行

大峰山系 稲村ヶ岳 1726.1m

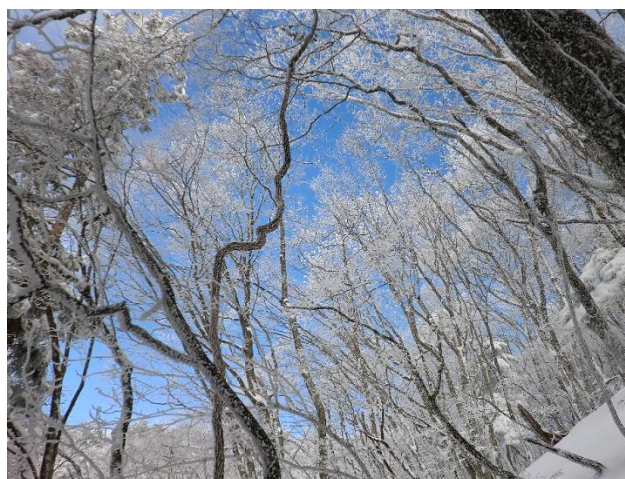
【日 程】1月14日(日) 晴れ

【参加者】L野路・SL杉森・藤井・亀高・中・永井(計6名)

【コース】母公堂(8:20)～法力峠(9:35)～稲村小屋手前 200m 引返し地点(11:45)～法力峠(13:45)～母公堂(14:55)

上北に近づくにつれ道路に前夜からの積雪が見られるようになる。登山口の駐車場に着き車外に出ると、キリキリとした寒さに身をすくめながら装備を整え8時20分に出発。

前日のトレースに雪が少し積もっているがはっきりとあり、植樹帯の緩やかな山道を20分ほど快適に上る。しばらくすると道はトラバースになり、いくつかの橋がありアイゼンで金属板を踏む嫌な音を聞きながら渡る。振り返ると美しい樹氷に輝く雑木林に歓声上がる。幹まで真白になっており、ここ数日の寒波の厳しさを感じる。青空と樹氷に包まれて全員がワクワクしながら法力峠(1,217m)を超える。風もなく穏やかな日差しのなか、少し汗ばむぐらいではあるが、ふと見ると私の携帯に電池切れマーク？ 充電は充分にしているはず？



しばらくするとKさんのデジカメやGPS スマホも使えなくなり始めた。高度が高くなり低温のための現象と判明する。いくつものトラバースや橋を繰り返して進むが、だんだんと積雪が深くなり急斜面は岩場が多くなる。ロープや鎖が設置されているが、細い足場に雪が深くて数名がロープを握りつつも足はズルッと滑る状態になり、もう少しで稲村小屋というところで引き返すことにした。帰りも、ゆっくりと樹氷と雪を楽しみながらの下山となった。好天のため峠の下あたりから樹氷が融けて来てくっきりと木の枝が見えホッと一息。大峰は深くて厳しい山であることを再確認した山行でした。

(記：中昌子)



教育講座第5回（雪山登山）実技山行

台高山脈 高見山 1248.9m

【日 程】1月21日（日） 晴れ時々曇り

【参加者】L 橋本・SL 中・辻・藤本・亀高・船江・野路・杉森・川田（計9名）

【J-タイム】たかすみ温泉駐車場(8:35)～高見杉(9:48)～杉谷平野分岐(10:32)～高見山(11:30/58 昼食)
～杉谷平野分岐(12:43/12:49)～高見杉(13:18/13:30)～たかすみ温泉駐車場(14:15)

座学で雪山の装備、山行中の注意点を学び、実技山行は「高見山」に登る計画を立てた。山行10日前の寒波で、積雪は十分あるとネットでの情報もあり、雪に関しては心配していなかったが、山行日の4日前に大量の雨が降ったこと、また、その後気温が上昇したことにより雪がないと、前日の午後に分かる。霧氷バスが出ている三峰山、和佐又山はどのような状態か確認するが、やはり雪は殆ど融けてしまっているとのこと。「ああどうしよう! なぜもう少し早く気付くことが出来なかったのか」と



後悔し焦った。Fさんと色々相談した結果、行先変更は無理なので予定通り高見山に行くことに決定。

当日は新入会員の方の歩行訓練や現在地を地形図で確定する作業をしながら登る。頂上では360度の素晴らしい展望、霧氷の木々を見る事ができ気持ちの良い山行となった。

初めての雪山登山となるはずだったKさん。座学にも出席され装備も揃えられたのに本当に残念だったが、重いリュックを背負い急登を登り稜線での寒さも経験されたこと、必ずや次へのステップに繋がると思いました。
(記:橋本紀子)

室内例会だより

【日 時】2017年12月24日(日) 15:00~16:35 事務所

【出席者】都築、藤井、田中悦、島崎、田中初、村田、林、辻、勝尾、杉村、高橋阪口、橋本(文責)、
亀高、船江、野路、中、杉森、上田、永井、川田

1. 山行計画

- 1月 1日(月) 初日の出山行 王寺明神山鳥居前 6:40 集合……………L 都築
- 1月 7日(日) 例会山行1 六甲の山《東お多福山 697m》……………L 島崎
- 1月 28日(日) 例会山行2 兵庫の山《伊勢山 362.8m》……………L 田中初
- 2月 4日(日) 例会山行1 比良山系《蛇谷ヶ峰》……………L 藤井

2. 教育部主催「教育講座」第5回(テーマ:雪山登山)

座 学:1月12日(金) 講師:藤本 19:30~事務所

実技山行:1月21日(日) 行先は座学時に決定

3. 山行報告

- 11月17~18日 県連初級登山学校(テント泊・ルートファインディング)実技山行《高見山大峠・北尾根》
L 藤本(本会)、杉川氏(県連教育部/奈良労山)……………本会4名・他会3名/計9名
- 11月19日 自主山行 鈴鹿山脈《仙ヶ岳 961m》L 杉村……………3名
- 11月26日 例会山行2 六甲縦走(中コース)《鍋蓋山~摩耶山》L 亀高……………11名
- 12月2日 県連初級登山学校(ガレ場/岩場歩き)実技山行《地獄谷~ピラーロック》
L 杉川氏・中武氏(県連教育部/奈良労山)……………本会4名・他会3名/計9名
- 12月3日 例会山行1 布引山地《経ヶ峰》L 林……………10名
- 12月10日 教育講座第4回 実技山行 ルートファインディング
和歌山(有田川)《兵ヶ城山 701m》L 藤本……………6名

4. 連絡その他

★県連関係

- ・県連1月行事「山筋ゴーゴー体操基本講習会」他、参加希望者は、藤本さん迄メールにて申込みしてください(12月12日配信の県連ニュース1月号に記載)。
- ・12月9日の運営委員会にて今後の県連の体制・行事等に対する本会の意見をまとめた(詳細は「西大和つうしん」1月号掲載の運営委員会議事録参照)。
最終的には、2月6日開催の県連理事会にて最終決定される。

★本会より

- ・12月9日運営委員会報告(詳細は「西大和つうしん」1月号掲載の議事録参照)
 - ①会報部が中心となり進めてきた会則ほか諸規則の改定案ができた。今年度の総会で審議する。
3月初めに配信するので、予め目を通しておいてください
 - ②例会山行日程に自主山行を計画することについては、「規制はしない」こととする。
 - ③8月例会山行は、夏山自主山行が行われるので例会山行1の1回のみとする。
 - ④夏山山行について会員がどのような山に行きたいのか、参考のためアンケートを取る(但し、アンケート結果で自主山行の行先が決定される訳ではない)。
 - ⑤県連行事として岩稜歩行・岩登り訓練を要望するかについては、県連側の実施体制及び事故対応の責任を確認すると共に本会参加希望者に具体的な目的、要望を聞き取りした上で会として要望するかを運営委員会で決定する。
- ・1月7日(日)例会山行1雨天中止の場合1月8日(月)祭日に変更。
- ・教育実技山行リーダーの変更
1月21日(日)を橋本に、2月17日(土)~18日(日)を藤本に変更。

西大和つうしん

第 428 号 (2018 年 2 月号)

2018 年 1 月 31 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

[http : //www.nishiyamatoyama.com/](http://www.nishiyamatoyama.com/)